



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 報

第735号

令和7年1月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <https://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 中村 滋
編集責任者 高橋 一成
印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

令和6年度埼玉県獣医師会新入会員研修会を
開催……………1

会務報告

第2回厚生委員会 (Web開催)……………2

予告

埼玉県獣医師会学術講習会 (西支部担当) のお
知らせ……………3

埼玉県獣医師会学術講習会 (北支部担当) のお
知らせ……………4

埼玉県獣医師会学術講習会 (東支部担当) のお
知らせ……………5

麻酔モニタリングセミナーのお知らせ……………6

ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会 (南支部担当) 開催
報告……………8

お知らせ

埼玉県からのお知らせ……………9
日本獣医師会からのお知らせ……………15

埼玉県獣医師会学術広報版……………19

事務局より

事務局メモ……………20

編集後記……………22

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

令和6年度 埼玉県獣医師会 新入会員研修会を開催

令和6年12月12日(木)、さいたま市の「With Youさいたま」において開業部会及び勤務部会両運営委員会による新入会員研修会を開催しました。

午後1時30分から開始された研修会では、全ての新入会員を対象とした全体研修と、開業支部会員のみを対象とした開業支部会員研修が実施されました。

1 全体研修会

大橋邦啓副会長の開会の言葉に続き、新入会員が自己紹介をし、出席した獣医師会役員が紹介されました。その後、中村滋会長が挨拶をしました。

獣医師会の定款や獣医師倫理などの全般的な内容について次のとおり研修が行われました。

- (1) 獣医師のあり方について
(大橋邦啓開業部会第1運営委員長)
- (2) 埼玉県獣医師会会員憲章について
(高橋一成総務委員長)
- (3) 埼玉県獣医師会定款・諸規程について
(高橋一成総務委員長)
- (4) 公益社団法人について(林繁雄理事)
- (5) 獣医師関係法令について(鴻巣泰専務理事)



挨拶をする中村滋会長

2 開業支部会員研修会

午後3時から、開業支部の新入会員のみを対象として、開業獣医師にとって必要な法律手続きや診療業務にあたっての心構え、集合狂犬病予防注射事業の事務手続きなどについて研修が行われました。

- (1) 開業獣医師に係る関係法令について(小暮一雄開業部会第2運営委員長)
- (2) 集合狂犬病予防注射の実施について(青山利雄狂犬病予防委員長)

講義終了後、午後4時に八木賢裕監事が閉会の言葉を述べて研修会は終了しました。

今回の研修会は、会務の都合により2年振りの開催となり、21名(開業7名、勤務14名)が参加しました。参加者は配布された多くの資料に目を通しながら熱心に受講していました。



21名が参加した全体研修会



全体研修会に続いて開業支部会員研修会を開催

会務報告

第2回厚生委員会(Web開催)

令和6年12月20日(金)午後1時30分からZoomミーティングにより開催し、次の事項を審議した。

1 協議事項

(1) ソフトボール大会について

令和7年10月13日(月・祝)に「大宮けんぼグラウンド Sフィールド」で開催すること及び予備日を設定しないことが決定された。

(2) ボウリング大会について

ボウリング同好会が活動を休止しているためボウリング大会を開催しないことが決定された。

(3) 健康診断助成金について

来年度以降も2千円/1人の助成を続けることが決定された。

(4) その他

なし

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

No.1

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

No.2

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

No.3

美味しさに
自信

ドクターイデア

Dr. IDEA

こだわりの国産品。

いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に

No.1

体重管理に

No.2

7歳から

No.3

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713 山梨：055-287-8622 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 茨城：0296-54-6101 千葉：043-309-5430

予 告

埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当)のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(2) 小2(4) 小3(8))

西支部長 堅木 道夫
 学術委員会委員長 宗像俊太郎
 西支部学術委員 岩崎 隆

この度、西支部では動物心臓外科センターの菅野 信之 先生に講習会をお願いしました。「心臓外科 僧帽弁閉鎖不全症を中心とした手術の実際と診断」をテーマに講習会を開催いたします。近年は、犬の高齢化に伴い僧帽弁閉鎖不全症の症例は増加傾向にあります。その症例に対する内科治療や手術適応のタイミングについてご講演いただきます。

日頃の日常の診療にお役立ていただければ幸いです。

日 時：令和7年2月16日(日)

13:30~17:00

場 所：川越市南文化会館 第1会議室

川越市今福1295-2

TEL 049-248-4115

演 題：「心臓外科

僧帽弁閉鎖不全症を中心とした手術の実際と診断」

講 師：動物心臓外科センター

菅野 信之 先生

参加費：埼玉県獣医師会会員 無料

非会員 5,000円

申込方法：当日まで可



埼玉県獣医師会学術講習会(北支部担当(Web開催))のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

北支部長 山口 達也
学術委員会委員長 宗像俊太郎
北支部学術委員 山本 慎也

この度北支部では、QUARC(クオーク)動物病院院長の石川勇一先生に講習をお願いしました。
「臨床現場でのあたまの使い方!臨床推論オーバービュー」と題し、日々の診療における「考え方」についてお話しさせていただきます。以下に石川先生より頂戴したコメントを掲載いたします。

臨床現場では「診断」と「治療」が主なプロセスとして存在し、それぞれでのあたまの使い方を「診断推論」「治療推論」として考えます。診断推論と治療推論を合わせたものが「臨床推論」であり、臨床を通してどのように考え、どのように行動すべきかを総論的にまとめたものです。

今回の講演では臨床推論の全体像を俯瞰しながら、診断推論における仮説演繹法の考え方や、治療推論では治療効果の見かたについて重点的にお話ししたいと思います。診断では仮説を立てることが重要であり、仮説を立てることによってどういった検査を選ぶべきか、検査の結果をどのように解釈するか、ということが明瞭になります。治療においては「薬が効くとはそもそもどういうことなのか?」という問いを通して、治療効果の見かたについて解説します。いずれも地味ではありますが、臨床現場では実はとても大切な内容です。ぜひご参加ください。

日 時：令和7年2月19日(水)
20:00~22:30

演 題：「臨床現場でのあたまの使い方!臨床推論オーバービュー」

講 師：QUARC(クオーク)動物病院
院長 石川 勇一 先生

参加費：埼玉県獣医師会会員 無料(会員のみ受講可能)

視聴方法：Zoom形式

申込方法：下記URLもしくはQRコードより事前登録(2月12日(水)締切)
<https://forms.gle/Tvm3En7w12dUEXbM7>



埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当)のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(2) 小3(8))

東支部長 青山 利雄
 学術委員会委員長 宗像俊太郎
 東支部学術委員 笠次 良宣

この度、どうぶつの総合病院麻酔科主任 米国獣医麻酔疼痛管理専門医の浅川 誠先生をお招きし、普段から我々が行っている避妊・去勢の周術期麻酔を中心に疼痛管理、手術手技+ α を学び直すべく講義を行っていただき、セミナーを開催いたします。

この機会に再度ご自身の知識を整理し、身に付けていただければと思います。

今回は対面形式にて開催いたします。

日 時：令和7年2月23日(日)

受付 14:00～受付開始

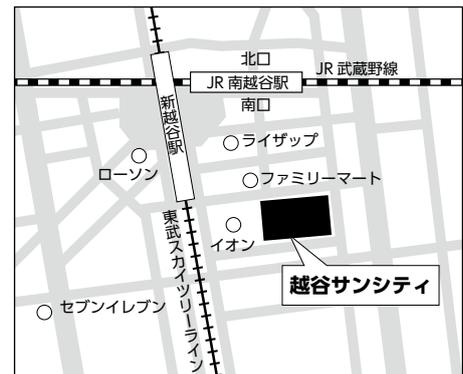
講義 14:30～17:00(多少時間が前後する場合があります)

場 所：越谷サンシティ

サンシティホール 4F 桐の間

越谷市南越谷1-2876-1

TEL 048-985-1111



演 題：「避妊・去勢手術の麻酔+ α

～麻酔モニターとピットフォールを中心に手術手技を学び直そう～

講 師：どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター 麻酔科主任

獣医師、米国獣医麻酔疼痛管理専門医

浅川 誠 先生

参加費：埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 5,000円

明日の現場で
活かせる!

麻酔 モニタリング Seminar

聴講
無料

モニタリングのポイント & 呼吸グラフィックの見方と対応

この度、常広畜産大学にてご活躍中の佐野忠士先生を講師にお迎えし、麻酔モニタリングのポイントや呼吸グラフィック機能の活用を交えながら実践的に学んで頂けるセミナーを開催いたします。ぜひご参加ください。

開催日時	開催場所	受講費	対象
2025年 3月2日 (日) 開場 14:00 開始 13:30 (講義は約2時間を予定)	WithYouさいたま <small>(最寄り駅 さいたま新都心)</small> <small>アクセス詳細は下記をご覧ください</small>	無料 定員 100名	獣医師の方 動物看護スタッフの方

講師紹介

常広畜産大学
獣医学研究部門
動物医療センター麻酔科
准教授

佐野 忠士先生

1999年
2003年
2003-2008年
2008-2011年
2011-2022年
2022-2023年
2023年~

日本獣医畜産大学 獣医学部 獣医学科 卒業
東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医学専攻 博士課程 修了
北里大学 獣医畜産学部 獣医学科 助手
日本大学 生物資源科学部 獣医学科 助手 / 助教
酪農学園大学 獣医学群 獣医保健看護学類 准教授
酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 准教授
現職

お申込方法

別紙「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ
FAXにてお申込みください

<h3>開場アクセス</h3>	<h3>主催</h3> <p>フクダエム・イー工業(株)</p> <h3>後援</h3> <p>埼玉県獣医師会</p> <h3>お問い合わせ</h3> <p>フクダエム・イー工業株式会社 埼玉営業所 TEL : 048-864-5891 FAX : 048-864-5902 E-Mail : saitama@fukuda-me.co.jp</p> <p style="font-size: small;">獣医療のトータルソリューションカンパニー FUKUDA M・E KOGYO CO., LTD. フクダエム・イー工業 株式会社</p>
-----------------	--

WithYouさいたま
4階セミナー室1~3

《住所》〒330-0081
さいたま市中央区新都心2-2
ホテルスリランテ武蔵野 (3・4階)

- ◆ JR京浜東北線・高崎線・宇都宮線
「さいたま新都心駅」から徒歩10分。
- ◆ JR埼京線「北与野駅」から徒歩7分。

※地下1階がホテルスリランテ武蔵野の有料駐車場となっていますが、収納台数には限りがあります。ご了承ください。

令和7年2月吉日



埼玉営業所

オープンセミナー開催のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、動物病院様におかれましては、手術中、麻酔下の多項目看視型の生体情報モニタの活用法等は、高い関心事例の一つではないでしょうか。

弊社は生体情報モニタの製造・販売メーカーとして、安心安全をテーマに周術期のトータルソリューションカンパニーを目指し、日々活動を続けております。

そこで来る**令和7年3月2日(日)**、埼玉県獣医師会様のご後援により、獣医師の皆様を対象に、**麻酔のモニタリングセミナー**を開催することとなりました。

講師に帯広畜産大学の**佐野忠士先生**をお招きし、「麻酔モニタリングセミナー～モニタリングのポイント&呼吸グラフィックの見方と対応～」と題し、麻酔モニター看視のポイントを数値やグラフィックの見方や意味などのベーシックな内容からお話頂く予定です。

当社製品を含めた生体情報モニタのさらなる御活用にお役立て頂ければ幸いです。

セミナースケジュール、開催場所などの詳細については別紙をご参照下さい。参加お申し込みにつきましては、下欄に必要事項をご記入のうえ FAX 送信いただくか、下記の間合せ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお、会場等の都合により、申込者数が定員に達した場合は、誠に勝手ながら締切りとさせていただきます点、ご容赦下さい。

敬具

オープンセミナー 受講申込書 (締め切り期日 R7年2月21日迄)

お申し込み先

F A X (048) 864-5902

貴院名	TEL	
	FAX	
e-mail		
所在地	〒	
氏名		

フクダ エム・イー工業 株式会社 埼玉営業所

〒336-0022 さいたま市南区白幡 4-29-3 第5 隆伸ビル 4F

TEL(048)864-5891 FAX(084)864-5902

埼玉県獣医師会学術講習会(南支部担当)開催報告

南支部長 藤井 忠之
学術委員会委員長 宗像俊太郎
南支部学術委員 溝口 俊太

2025年1月12日(日)、南支部担当としてTRVA動物医療センター・院長の塗木貴臣先生にお願いして、対面での講習会を実施しました。

「来院数TOP3から学ぶ救急診療」と題して、救急現場において最も来院頻度の多い誤飲誤食、消化器疾患、神経疾患について講演していただきました。豊富な症例の動画や写真を混えて、臨床現場での救急医の判断や対応、そして各疾患に対する医学的な知見などを踏まえてお話していただきました。参加者からは、急性膵炎に対する治療や食道内異物に対する内視鏡の活用など活発な質問がありました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
38名	3名	25名	1名	0名	3名	6名	0名

おしらせ

畜安第837-3号
令和6年12月23日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長
渡辺 志保（公印省略）

ランピースキン病の車両等を介した伝播の防止について（通知）

日頃から本県家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。
標記について、令和6年12月13日付け6消安第5231号により、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から通知がありました。

ランピースキン病（以下「本病」という。）は、本年11月6日に福岡県の農場で発生が確認されて以降、現在までに福岡県の18農場及び熊本県の2農場で発生が確認されています。福岡県での感染拡大状況から、吸血昆虫の飛翔による感染ルート以外に、吸血昆虫が車両に付着し又は車内に侵入することによって運搬された可能性も指摘されています。

つきましては、下記について貴会会員に周知いただき、農場間の伝播防止対策について御留意いただくようお願いいたします。

記

1 農場におけるサシバエ等吸血昆虫対策

成虫の駆除・殺虫に加え、サシバエの発生を抑制するための幼虫対策（発生源となり得る場所、特に除糞しにくい場所、牛が踏みつけない畜舎の四隅等、堆肥置場周辺等へのIGR剤の散布）、サシバエの休息場所となる牛舎周辺の草刈り等も合わせて実施すること。

2 農場間の伝播リスクを低減させる対策

以下の対策を徹底し、農場間の伝播リスクの低減を図ること。

その他、農場外から搬入する牧草ロールや敷料等の資材に吸血昆虫が付着していることもあるので注意すること。

- (1) 農場への入出場時における車両（タイヤ回りだけでなく車体も含む）の洗浄・消毒のほか、車体や車内への殺虫剤の散布等により、サシバエ等を農場間で運ばない対策を徹底すること。また、車内に殺虫スプレーを常備して、訪問農場ごとに殺虫すること。
- (2) 発症牛の早期発見に努めるとともに、家畜市場等への牛の出荷に当たっては、当該個体だけでなく、飼養牛の全頭について本病を疑う異常がないことを確認すること。
- (3) 牛の飼養農場に出入りする者は、飼養衛生管理基準に基づく衛生管理区域専用の衣服及び靴の着用を徹底すること。また、特に獣医師、人工授精師等については、注射針、手袋、聴診器、人工授精に用いる器具など体液や皮膚に接触する物品については、一頭ごとに確実に交換又は消毒を徹底するとともに、農場への搬入時及び農場からの搬出時の洗浄・消毒等を徹底すること。

畜安第839-3号
令和6年12月23日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長
渡辺 志保 (公印省略)

年末年始及び旧正月の時期における家畜防疫対策の徹底について (通知)

日頃から本県家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。
標記について、令和6年12月16日付け6消安第5216号により、農林水産省消費・安全局長から通知がありました。

アフリカ豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ、豚熱などの特定家畜伝染病については、訪日外客数の増加に伴う病原体の侵入リスクや野生動物からの感染リスクが依然として高い状況が続いています。

また、本年11月には、国内で初めてランピースキン病が確認され、感染地域の拡大が懸念されています。

年末年始及び旧正月の時期を迎え、人や物の動きが一層活発になることから、下記事項について留意するよう貴会会員に周知いただき、疾病の発生予防及びまん延防止に万全を期すようお願いいたします。

記

1 畜産関係者等の海外渡航の自粛等

- (1) 畜産関係者については、アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域や非清浄地域への不要不急の渡航を自粛すること。やむを得ず渡航する場合には、農場への立入りや家畜との接触を避けるとともに、帰国時には衣服や靴の消毒等適切な防疫措置を行うこと。
- (2) 外国人技能実習生等の外国人従業員を受け入れている畜産関係者等においては、日本への持込みが禁止されている肉製品等が携帯品や国際郵便物等によって持ち込まれることのないよう、従業員に周知を徹底すること。外国人従業員が受け取る国際郵便物等の中に動物検疫を受けていない肉製品等を確認した場合は、直ちに動物検疫所に連絡すること。

2 農場における病原体侵入防止対策の徹底

- (1) 衛生管理区域に入場する全ての者は、車両の消毒、専用の衣服及び長靴の着用、手指消毒等を徹底すること。
- (2) 飼養管理に関係のない者が衛生管理区域及び畜舎へ立ち入らないよう、境界を明確化するとともに看板等により注意を促すこと。
- (3) 野生動物の侵入防止のための防護柵や防鳥ネット、畜舎の壁・天井等に穴や破損箇所、隙間等がないか再点検し、不備等を認めた場合は直ちに改善を図るなど、現場の「隙」を埋めること。

3 飼養家畜の健康観察、異状を認めた場合の早期通報の徹底

飼養家畜の健康観察を毎日入念に行い、アフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の特定疾病に関して、特定症状を呈している家畜を発見したときは、管轄の家畜保健衛生所に速やかに連絡すること。また、ランピースキン病についても、牛に疑わしい症状を認めた場合は家畜保健衛生所へ連絡すること。

畜安第881-1号
令和6年12月27日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長
渡辺 志保 (公印省略)

愛玩動物におけるオンライン診療の適切な実施に関する指針の策定
について (通知)

本県の家畜衛生行政については、日頃格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件について、別添のとおり農林水産省消費・安全局長より通知がありました。

つきましては、貴会会員へ周知いただきますようお願いいたします。

6 消安第 5557 号
令和6年12月27日

都道府県知事 (別記参照) 殿

農林水産省消費・安全局長

愛玩動物におけるオンライン診療の適切な実施に関する指針の策定について

令和6年6月21日に閣議決定された規制改革実施計画において、オンライン診療がより積極的に活用されるための指針を農林水産省が策定することとされました。

これに伴い、今般、飼育者、獣医師等に調査を行い、その結果を踏まえ、愛玩動物におけるオンライン診療がより積極的に活用されるための基本的な考え方等を別添のとおり「愛玩動物におけるオンライン診療の適切な実施に関する指針」として取りまとめたので、貴管下の診療施設の開設者及び管理者、関係団体等に周知頂きますよう、御配慮をお願いいたします。

別添

6 消安第 5557 号_令和 6 年 12 月 27 日

愛玩動物におけるオンライン診療の適切な実施に関する指針

1. 目的及び位置付け

近年、デジタル技術を活用した社会生活の変革や新たなサービスが創出される中で、人医療においても情報通信機器を用いたオンライン診療の普及が進んでいる。愛玩動物の獣医療においては、飼育者の利便性向上や適切な獣医療への迅速なアクセス向上の観点から、オンライン診療のニーズはますます高まることが想定される。産業動物においては、「家畜における遠隔診療の積極的な活用について（令和 3 年 12 月 15 日付け 3 消安第 4800 号）」を制定し遠隔診療の適時・適切な活用を推進しているところであり、愛玩動物においても適切なオンライン診療の実施を促進することが求められている。

このような観点から、本指針は、愛玩動物におけるオンライン診療に関して、不適切な実施によりその推進を阻害することのないように、オンライン診療の適切な実施に関する基本的な考え方を示し、愛玩動物の飼育者、獣医師等の関係者が安心して利用できる適切なオンライン診療の普及を推進するために策定するものである。

2. 基本的な考え方

- (1) 愛玩動物におけるオンライン診療は、情報通信機器を通して、愛玩動物の診察及び診断を行い、診断結果の伝達、処方等の診療行為を映像と音声を用いてリアルタイムで行うものである。このため、獣医師は、ネットワーク環境を確保し良好な通信環境の下で、診療を行うことが求められる。
- (2) オンライン診療においては、獣医師が飼育者から十分な情報を得ること、また、獣医師と飼育者との間で診療方針に合意することが必要である。このため、「かかりつけの獣医師」にて行われることが基本であり、対面診療を適切に組み合わせて行うことが求められる。
- (3) オンライン診療により獣医師が行う診療行為の責任については、当該獣医師が全ての責任を負う。このため、獣医師はオンライン診療で傷病に対する一定の判断を下し得る程度の十分な情報を得られているか、その情報で適切な診断ができるか等について、慎重に判断し、オンライン診療による診療が適切でない場合には、速やかにオンライン診療を中断して、対面による診療に切り替えることが求められる。また、獣医師は飼育者の飼育動物の獣医療情報が漏洩することや改ざんされることのないよう、情報通信並びに飼育者及び飼育動物の獣医療情報の保管について、十分な情報セキュリティ対策を講じることが求められる。
- (4) オンライン診療においては、対面診療と比べて、獣医療へのアクセスが向上するという側面がある一方で、得られる情報に限界があるという側面もあることを考慮し、獣医師は安全性や有効性についての評価を定期的に行うことが求められる。
- (5) オンライン診療を行う獣医師は、飼育者が受けるメリット及び生じるおそれのある不利益等のデメリットについて、事前に説明するなどの「インフォームド・コンセント」を徹底する必要がある。
- (6) 適切なオンライン診療の普及のためには、その獣医療上の安全性・有効性・必要性が担保される必要があり、獣医師は安全性や有効性についてのエビデンスに基づいた獣医療を行うことが求められる。
- (7) オンライン診療は、飼育者がその実施を求める場合に実施されるべきものであり、獣医師側の都合のみで行ってはならない。

3. 具体的適用

獣医師は、オンライン診療であっても、対面診療と同様に獣医師法（昭和 24 年法律第 186 号）、獣医療法（平成 4 年法律第 46 号）その他の関係法令に規定される獣医師の任務や職責を果たさなければならない。くわえて、オンライン診療の安全性を担保し、有効な問診、診断等が行われるよう、以下について遵守すること。

- (1) 初診からのオンライン診療は、原則として「かかりつけの獣医師」が行うこと。
- (2) 「かかりつけの獣医師」が休日夜間等で対応できないとして飼育者から依頼があった場合等には、診療前相談をする等して、必要な獣医療情報を把握し、かつ、愛玩動物の状態に応じてオンライン診療の実施について獣医師が可能と判断した場合は、この限りではない。この場合、獣医師は診療前相談で得た情報を診療簿に記載する必要がある。また、オンライン診療の実施後は、診療記録を正確かつ詳細に共有し、迅速かつ適確に対面診療につなげられる体制を整えておく必要がある。
- (3) 獣医師は、飼育者と相互に信頼関係を構築した上で、双方の合意に基づいてオンライン診療を実施する必要がある。
- (4) 飼育動物の診療中における急病急変への対応は、直接の対面診療が基本であり、獣医師は、急病急変時に適切に対応するため、飼育者が速やかにアクセスできる診療施設において直接の対面診療を行える体制を整えておく必要がある。
- (5) 獣医師は、医薬品の処方の際に、飼育者に対して医薬品の管理、投与方法、副作用、獣医師の指示の遵守等について事前に十分な指導を行う等医薬品の適正使用に努めなければならない。また、特に安全管理が必要な医薬品を処方してはならないこと。
- (6) 獣医師は、初診においては、獣医師の特別の指導を必要とする医薬品、安全性・有効性についてのエビデンスが評価されていない医薬品等を処方してはならないこと。また、処方の際に、処方日数制限を 1 回 7 日分を限度とし、それで症状が改善しない場合は飼育者に対して対面での診療を促すこと。
- (7) 獣医師は、獣医療法第 3 条の規定に基づき開設の届出がなされた飼育動物診療施設に所属し、その所属及び当該診療施設の間合せ先を明らかにしておく必要がある。
- (8) 獣医師は、ネットワークが不安定でオンライン動画が途切れる等、適切な診療が困難な場合はオンライン診療を行わないこと。また、オンライン診療を文字、写真あるいは、録画動画のみのやりとりで行わないこと。

埼産協 第130号
令和7年1月22日

各関係団体代表者 様

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会長 亀井 寿之
(公印省略)

産業廃棄物の排出事業者向け実務担当者研修の開催について（通知）

協会事業の推進につきまして、日頃格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、協会では埼玉県から委託を受けて産業廃棄物の不法投棄防止と適正処理の推進のため、実務担当者研修会を実施しております。

つきましては、貴団体の会員の皆様に御活用いただけるよう、周知への御協力をお願いいたします。

記

- 1 研修内容
産業廃棄物実務担当者研修（WEBによる視聴）
- 2 配信期間
令和7年1月15日（水）から令和7年2月25日（火）まで
- 3 参加費
無料
- 4 受講について
 - (1) 申込方法
別添申込書に必要事項を記載し、下記の申込先まで電子メールで送信してください。
 - (2) 受講方法
一般社団法人埼玉県環境産業振興協会ホームページにアクセスし受講してください。

(<https://saitama-sanpai.or.jp/training/R6jitsumu.html>)

「埼玉県環境産業振興協会 R6実務者研修会」で検索

令和6年度実務担当者研修会（WEB開催）のお知らせ

委託機関：埼玉県

実施機関：一般社団法人 埼玉県環境産業振興協会

- 1 趣旨 本研修会は、埼玉県から委託を受け、産業廃棄物の処理、排出業務に携わる実務担当者等を対象に、廃棄物処理法等に定められた基準等の基礎について知識を習得するとともに、その遵守を促し、もって産業廃棄物の適正処理の推進に資することを目的に開催します。
- 2 配信期間 令和7年1月15日から2月25日まで
- 3 対象者 産業廃棄物処理業者及び排出事業者の実務担当者等
- 4 参加費 無料
- 5 受講方法 埼玉県環境産業振興協会ホームページ（下記 URL）
<https://saitama-sanpai.or.jp/training/R6jitsumu.html>
にアクセスし受講してください。
または、当協会ホームページのメニューから
研修会等 → 【R6】実務担当者研修会
を選択してください。
スマートフォンでも視聴できますので、
空き時間に少しずつ受講できます！
- 6 申込方法 申込書に必要事項を御記入の上、協会事務局あてにファックス等でお申し込みください。
- 7 その他 受講後、アンケートにもぜひ、御協力ください。



申込先、お問い合わせ：一般社団法人埼玉県環境産業振興協会

電話：048（711）1014

FAX：048（711）7708 Mail: info@saitama-sanpai.or.jp

事 務 連 絡
令和 6 年 12 月 25 日

地方獣医師会会長 各 位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見 啓 二

愛玩動物看護師の現況調査の実施について（協力依頼）

令和 6 年 12 月 23 日付け事務連絡により、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課並びに環境省自然環境局総務課動物愛護管理室より別紙のとおり協力依頼がありましたのでお知らせします。

このたびの通知は、愛玩動物看護師が世の中で周知されるとともに、様々な業種や地域社会の中で活躍するための基礎情報として、愛玩動物看護師資格者を対象に調査を実施することとしたので協力願いたいとするものです。

つきましては、貴会関係者へウェブページの URL、二次元バーコードの周知方ご協力の程お願いいたします。

1. 調査期間

令和 7 年 1 月 6 日（月）～ 2 月 1 4 日（金）

2. 対象者

愛玩動物看護師資格者

3. アンケート調査情報

ウェブページ URL : <https://forms.office.com/r/hmbFHkBWWM>

二次元バーコード



事務連絡
令和6年12月25日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見 啓二

**米国における猫の高病原性鳥インフルエンザ感染事例について
—米国・情報提供—**

このたび、令和6年12月23日付け事務連絡により農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（愛玩動物用飼料対策班担当）からペットフード関連業界団体の長あてに別紙のとおり通知された旨本会あてに情報提供がありましたのでお知らせします。

ロサンゼルス郡公衆衛生局の令和6年12月20日付けプレスリリースにおいて、①高病原性鳥インフルエンザに汚染されている可能性があるとして自主回収されている Raw Farm, LLC 社製の生乳製品を摂取した猫4匹において、高病原性鳥インフルエンザの感染を確認、②別の家庭において生鶏肉及び生牛肉を用いた生ペットフードを摂取した猫1匹において、高病原性鳥インフルエンザに感染した旨、公表されたとのことです。

今回問題となった Raw Farm, LLC 社の生乳製品（ペット用含む）は米国内で自主回収されており、日本国内の流通・販売は確認されていないとのことですが、念のため、ペットフードの輸入や国内流通の際には当該情報にご留意いただくよう会員への周知方ご協力の程お願いいたします。

※別紙省略

事 務 連 絡
令和6年12月26日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見 啓 二

セクハラ・パワハラ等防止の注意喚起について

先般、令和6年12月18日付け6日獣発第278号「獣医師の飲酒運転防止等の法令順守への注意喚起について」を通知したところです。

この通知を受け、匿名により実際に被害を受けていると思われる方からセクシャルハラスメント・パワーハラスメント（セクハラ・パワハラ）についても同様に法令順守の注意喚起を行うべきとの御意見を頂きました。

セクハラ・パワハラは、令和4年4月に労働政策推進法が改正され、中小企業にもその対策が義務化されるなど社会的な関心が高まっており、その発生は関係者にとって切実な問題であるのみならず、獣医療全体への信頼を棄損する問題にも発展し得るものと考えられます。

各会員におかれましては、今一度、添付の参考資料等により関係法令を確認・遵守の上、獣医療を提供するチームを構成する従業員が働きやすい職場環境を構築することを通じ、よりよい獣医療を提供いただきたく、御配慮のほどよろしくお願いいたします。

(参考) 職場におけるハラスメント対策パンフレット
(厚生労働省都道府県労働局雇用環境・均等部 (室))

※参考資料省略

事務連絡
令和6年12月27日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見啓二

**米国における猫の高病原性鳥インフルエンザ感染事例について（第2報）
－米国・情報提供－**

このたび、令和6年12月25日付け事務連絡により農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（愛玩動物用飼料対策班担当）からペットフード関連業界団体の長あてに別紙のとおり通知された旨本会あてに情報提供がありましたのでお知らせします。

12月24日、オレゴン州農務省等が高病原性鳥インフルエンザに汚染された Northwest Naturals 社製の七面鳥を用いた生ペットフードを摂取した猫が高病原性鳥インフルエンザに感染し、死亡した旨、発表されたとのことです。

今回問題となった Northwest Naturals 社のペットフードは米国内で自主回収されており、日本国内の流通・販売は現時点で確認されていないとのことです。念のため、ペットフードの輸入や国内流通の際には当該情報にご留意いただくよう会員への周知方ご協力の程お願いいたします。

※別紙省略

令和6年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和7年1月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月			
7月28日(日)		さいたま市 「学校飼育動物におけるウサギの診療」 日本エキゾチック動物医療センター 三輪恭嗣 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	
8月16日(金)		南支部 「猫の呼吸器疾患」 日本獣医生命科学大学 藤原亜紀 先生 【Zoomにて開催】	
9月1日(日)	令和6年度 関東・東京合同地区獣医師大会(群馬) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (高崎市 Gメッセ群馬)		
10月23日(水)	北支部 「スイス、ヨーロッパの酪農、 畜産、家畜の診療」 「我が国におけるAMR(薬剤耐性)対策および診療の現状 と正しい薬の使い方」 宮崎大学 佐藤礼一郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
11月			
12月			
令和7年 1月12日(日)		南支部 「来院数TOP3から学ぶ救急診療」 TRVA動物医療センター 塗木 貴臣 先生 (さいたま市 TKP大宮ビジネスセンター)	
1月24日(金) ~1月26日(日)	令和6年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (仙台市 仙台国際センター)		
1月26日(日)		さいたま市支部 「学校飼育動物におけるウサギの診療2」 日本エキゾチック動物医療センター 三輪恭嗣 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	
1月17日(金)	農林支部 令和6年度埼玉県家畜保健衛生 生業績発表会 (さいたま市 埼玉教育会館)		
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月16日(日)		西支部 「心臓外科 僧帽弁閉鎖不全症を中心とした手術の実際と診断」 動物心臓外科センター 菅野 信之 先生 (川越市 川越市南文化会館)	
2月19日(水)		北支部 「臨床現場でのあたまの使い方！臨床推論 オーバービュー」 QUARC動物病院 石川 勇一 先生 【Zoomにて開催】	
2月23日(日)		東支部 「避妊・去勢手術の麻酔+α~麻酔モニター とピットフォールを中心に手術手技を学び 直そう~」 どうぶつの総合病院 浅川 誠 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
3月			

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vm.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

- | | |
|---|--|
| 令和7年 | 3月9日 東支部旅行(場所未定)
～10日 |
| 1月12日 南支部新年会(さいたま市 東天紅
JACK大宮店) | 4月13日 第1回関東・東京合同地区理事会・幹事
会(山梨県甲府市 山梨県農済会館) |
| 1月17日 埼玉県家畜保健衛生業績発表会(さいた
ま市 埼玉教育会館) | 5月18日 南支部総会(さいたま市 浦和ワシント
ンホテル) |
| 1月19日 西支部学術セミナー・新年会(川越市 川
越プリンスホテル) | 5月25日 東支部総会(越谷市 越谷サンシティ) |
| 1月22日 知事と農林水産業団体長との情報交換会
(さいたま市 知事公館) | 5月25日 さいたま市支部総会(さいたま市ホテル
ブリランテ武蔵野) |
| 1月24日 日本獣医師会獣医学術学会年次大(宮城
～26日 県仙台市 仙台国際センター) | 6月2日 埼玉県獣医師会第77回定時総会(予定:
さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野) |
| 1月26日 埼玉県獣医師会学術講習会・さいたま市
支部担当(さいたま市 With Youさいたま
ま) | 6月25日 日本獣医師会第82回通常総会(東京都港
区 明治記念館) |
| 1月26日 さいたま支部新年会(さいたま市 ホテ
ルブリランテ武蔵野) | 7月6日 第2回関東・東京合同地区理事会・幹事
会(山梨県甲府市 山梨県農済会館) |
| 1月26日 東支部新年会(越谷市 越谷サンシティ) | 7月11日 全国獣医師会事務事業推進会議(東京都
港区 明治記念館) |
| 1月29日 集合狂犬病予防注射実施者講習会(さい
たま市 レイボックホール) | 8月3日 北支部研修会・納涼会(場所未定) |
| 2月2日 北支部学術講習会・新年会(深谷市 埼
玉ランドホテル深谷) | 9月7日 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会
(山梨県甲府市 アピオタワー館) |
| 2月14日 日本獣医内科学アカデミー学術大会(東
～16日 京都千代田区 東京国際フォーラム) | 11月14日 全国獣医師会基調会議(東京都港区 明
治記念館) |
| 2月16日 第3回関東・東京合同地区理事会(群馬
県高崎市 エテルナ高崎) | 11月15日 動物感謝デー in JAPAN(東京都台東区
上野恩賜公園) |
| 2月16日 西支部学術講習会(川越市 川越市南文
化会館) | |
| 2月19日 北支部学術講習会(Web開催) | |
| 2月23日 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシ
ティ) | |

広告

予防を科学し、人と動物を健やかに



鶏用ワクチン

日生研ニューカッスル生ワクチンS
 日生研C-78・IB生ワクチン
 日生研MI・IB生ワクチン
 ガルエヌテクトS95-IB
 日生研NB生ワクチン
 ガルエヌテクトS95-NBL
 日生研ILT生ワクチン
 日生研IBD生ワクチン
 日生研乾燥鶏痘ワクチン

AE乾燥生ワクチン
 ガルエヌテクトCBL
 日生研鶏コクシ弱毒3価生ワクチン(TAM)
 日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン(Neca)
 日生研EDS不活化ワクチン
 日生研EDS不活化オイルワクチン
 日生研ACM不活化ワクチン
 日生研NBAC不活化ワクチン



豚用ワクチン

豚コレラ生ワクチン
 スワインテクトAPX-ME
 日生研豚APワクチン125RX
 日生研豚APM不活化ワクチン
 日生研MPS不活化ワクチン
 日生研グレーサー病2価ワクチン
 スワインテクトPRRS-ME
 スワインテクトSER-ME

日生研豚丹毒不活化ワクチン
 日生研豚丹毒生ワクチンC
 日生研ARBP混合不活化ワクチンME
 日生研ARBP・豚丹毒混合不活化ワクチン
 日生研PED生ワクチン
 日生研TGE・PED混合生ワクチン
 日生研日本脳炎生ワクチン
 日生研日本脳炎TC不活化ワクチン



馬用ワクチン

エクエヌテクトERP
 エクエヌテクトFLU
 エクエヌテクトJIT
 日生研日脳・馬ゲタ混合不活化ワクチン
 日生研馬ロタウイルス病不活化ワクチン
 破傷風トキシイド[日生研]
 日生研日本脳炎TC不活化ワクチン



牛用ワクチン

アカバネ病生ワクチン“日生研”
 日生研牛異常産3種混合不活化ワクチン



犬・猫用ワクチン

日生研狂犬病TCワクチン
 (共立製薬株式会社販売です)



魚用ワクチン

オーシャンテクトVNN



日生研株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

TEL 0428-33-1009(営業部) URL <https://www.jp-nisseiken.co.jp>

広告



こわい狂犬病から
ほくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに!



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>
E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

松研の動物用生物学的製剤

豚用ワクチン

- 豚熱生ウイルス乾燥予防液
(豚コレラ生ウイルス乾燥予防液)
- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

編集後記

新しい年が明け、寒さが一段と厳しい日が続いていますが、1月24日(金)～26日(日)に仙台国際センターにて、日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催された。

本学会は産業動物、小動物、公衆衛生分野の講演や発表があり、全国の各分野の先生の発表を聴講することができ、また懇親会などで幅広い分野の先生や獣医療関係者と交流ができる貴重な学会である。

今回は中でも印象に残った令和6年能登半島地震に係る動物救護対策と全国各地における災害対策への取組みというシンポジウムの概要を紹介したい。ここでは、発災当時の状況が話された。日本獣医師会は危機管理室設置後から相互に連絡が取れる体制を整えていたため、災害発生が連絡の取りにくい元旦の発生にもかかわらず、「日本獣医師会令和6年能登半島地震緊急対策本部」を設置し、対応にあたることができたこと、そして石川県獣医師会では、1月4日・5日に役員を招集、地震対策会議を開催し対応を協議し、7日には石川県獣医師会、石川県健康福祉部薬事衛生課、日本獣医師会、環境省が集まり対応を協議、被災から7日後の8日には県獣医師会及び薬事衛生課で構成する「令和6年能登半島地震動物対策本部」が立ち上げられたという。また日本獣医師会や環境省、ペット災害支援協議会等の関係団体が直接的、間接的に対策本部を支援し、その対策本部の運営は石川県獣医師会が担い、事務局を運営する「総務班」、診療を主に担当する「緊急医療班」、支援物資の手配や一時預かりを担当する「支援物資班」、シェルターの設置・運営等を担当する「保護対策班」

が設置された。初期活動費は日本獣医師会が負担し、その後の活動に必要な資金は広く全国に支援を求めることとして、1月11日には「令和6年能登半島地震動物救済支援金」の募集を開始することができ、対策本部は主に以下の活動を実施した。①物資の支援②被災ペットの診療支援並びに移動診療車を用いた現地診療③動物病院における被災ペットの一時預かり④シェルターの設置・運営⑤猫の避妊去勢手術及びマイクロチップの装着⑥動物対策本部の運営である。今回の地震では、日本獣医師会や環境省の支援を受け迅速に活動を進めることができたものの、石川県と県獣医師会は「災害時における被災動物救護活動に関する協定書」を交わしていたにもかかわらず、行政との人員不足や連携の課題が浮き彫りとなった。しかし一方、獣医師会主導のシンプルな意思決定により、柔軟で迅速な対応が可能となり、多くの被災者のニーズに応えられたことなどが話された。

我々埼玉県獣医師会でも災害時の迅速な対応を可能にするため、平時から体制整備や支援スキームの確立、地域特性に応じた対策検討が必要であると考えます。また、ペット同行避難に向けた具体的な取り組みや啓発活動の推進も課題ではないでしょうか。

近年では様々な学会が開催されているが、学術分野にとどまらず、社会にとって重要な公衆衛生や社会貢献の分野を改めて考えさせられる、このような獣医師会年次大会が充実すれば獣医師会の存在意義が高まっていくものと感じた。

(黎明)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

地方獣医師会の
会員獣医師の皆さまへ

クレーム行為にお悩みの獣医師の皆さまには
強い味方がついてます!

獣医師賠償責任保険に自動付帯

クレーム対応相談サービス をご活用ください!!

もし

クレーム行為[※]により
診療が阻害されたら...

※クレーム行為とは、記名被保険者が日本国内で行った業務に対して、他人が被保険者(保険の補償を受けられる方)に暴行、脅迫、威力、セクシャルハラスメント、不退去、偽計、風説の流布を行うことをいいます。



もし

SNS(GoogleクチコミやTwitter)に獣医師や動物病院の名誉を毀損するような悪質な書き込みをされたら...

もし

リスクを十分に説明して行った手術で、ミスはなかったのに、「勝手な処置をされた」「すべき治療をしなかった」とクレームを受けたら...

こういう場合に、お気軽にご相談することができます!!

多くの会員獣医師の皆さまにご利用いただいています。

専門相談窓口への無料相談サービス [受付時間] 平日の午前10時～午後6時

クレームコンシェルとは、クレーム行為に関するご相談窓口です。

クレームコンシェルサポートメンバーがクレームに関するご相談に対し、対応方法など解決に向けた各種アドバイスを実施し、クレームの速やかな解決を支援します。

※ご利用は本保険の被保険者のみとなります。

クレーム対応
無料相談サービス
の使い方

加入者証に記載の相談ダイヤルへお電話ください!!

(受付時間：平日午前10時～午後6時)

保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

この案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1
新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。

